

# プロジェクト通信No4

令和5年8月29日 発行

## 雇用促進 就労定着 project

8月25日、就労系福祉サービス事業所訪問に行ってきました。

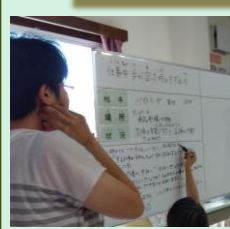
**第3回目は「十勝さずなの翼」です。**

就労プログラムの「ビジネスSST」を見学後、意見交換を行いました。訪問者が多かったこともあり、面接会のような緊張感の中、利用者さんからの沢山の質問を受ける時間になりました。

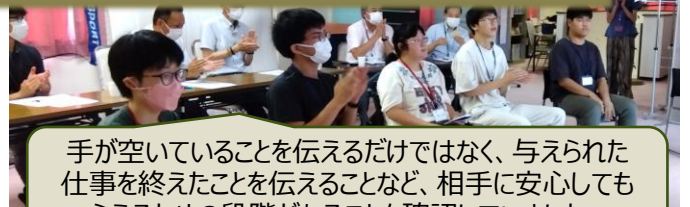


さずなの翼の特徴は「就労プログラム」の豊富さです。「仕事中に手が空いたときの尋ね方」を題材にした、ディスカッションとロールプレイを見学しました。お互いの意見を尊重し、相手の良さを認めながらプログラムが進んでいきました。

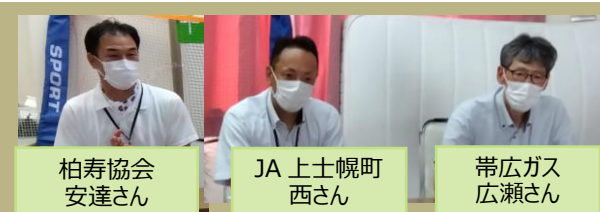
意見を出し合った方法で、全員がロールプレイに挑戦しました



- ・相手に声をかけるときの言葉
- ・声をかけるときのタイミング
- ・仕事の報告
- ・確認のお願い
- ・次にすることを尋ねる



手が空いていることを伝えるだけでなく、与えられた仕事を終えたことを伝えることなど、相手に安心してもらえるための段階があることを確認していました。



柏寿協会  
安達さん

JA 上士幌町  
西さん

帯広ガス  
広瀬さん

今回のプロジェクト担当企業

面接では、どのようなことを聞かれますか？

受け答えよりも、見学・実習などを通して、その人の人柄を見たいと思っています。



### 【就職時の不安】

- ・人間関係（怖い人がいないか、陰口が怖い）
- ・緊張で声が出なくなってしまう
- ・コミュニケーションが苦手

企業では、困ったときやトラブルの時の相談窓口があります。日常対応してくれる担当者や定期面談も行っていますので、今日のプログラムのように相談するスキルを身につけることはとても良いことです。



今回の見学では、就職経験の浅い方・未経験の20代の方が対応くださいました。経験がないために不安が大きく、しっかりと準備をしなければ一歩を踏み出せない印象を受けました。プロジェクト企業からは仕事の楽しさと、「チャレンジしないと始まらない」という背中を押す言葉が多く聞かれました。

合計3回行われた就労系福祉サービス見学会は、仕事の魅力発見フェスに参加してくださった福祉サービス利用者の就職への気持ちの後押しを目的に行いました。様々な事情によりサービスを利用している方と出会い、チャレンジしてほしいと思う利用者さんが多かったというのが企業の率直な感想です。今後、福祉側の企業見学会が始まります。体験実習・ハローワークの雇用促進フェアと「一歩を踏み出す」皆さんをプロジェクトは応援します。